

健康増進型観光都市

From Leisure style tourism to Healthcare tourism

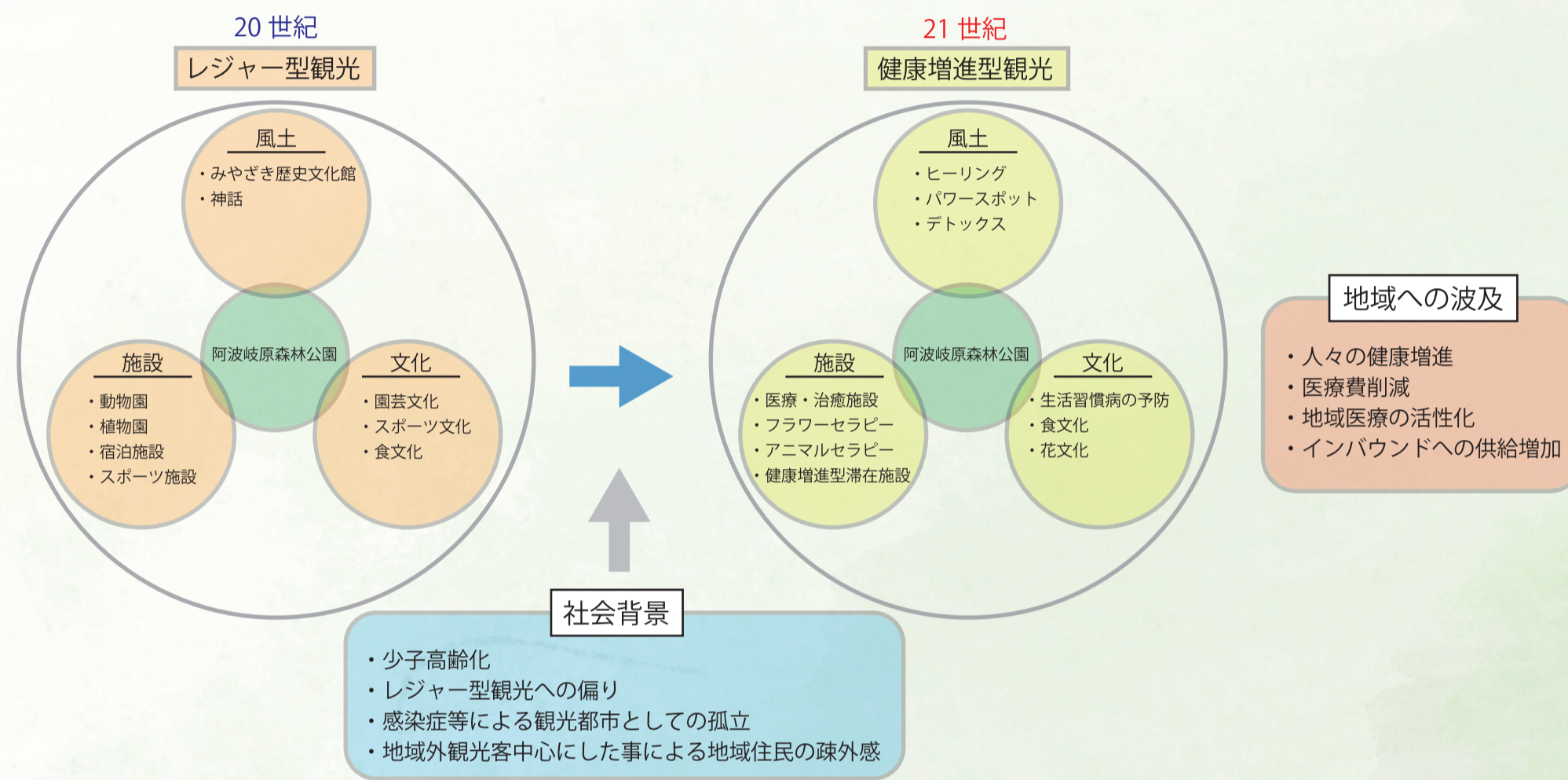
コンセプト

20世紀型観光の中心地としてレジャー型開発された阿波岐原森林公園から、新たに21世紀型観光の中心地としての転換が求められている。生活の質の向上として、健康面と向き合う場所の提供することで、まちでの生活に疲れた人々の苦痛を取り除き、まちの生活の質の向上にも貢献できる。

その阿波岐原森林公園を「清めの地」として位置づける。

阿波岐原森林公園を21世紀型成長戦略の中核とし、健康増進型観光拠点を整備し、国内外を問わず医療や健康を目的とした新たな観光産業を創出する。これを持続可能な都市経営の核とし、宮崎の文化や風土とともに発展させることで地域医療の活性化に貢献できると考える。

宮崎ならではの21世紀型Well-Beingとして、個人の健康や幸福感のみならず、社会的な幸福や環境の持続可能性を考慮した、少子高齢化社会のまちに寄り添う健康促進の場所を提案する。



21世紀の持続的なWell-Beingの要素

21世紀の持続的なWell-Beingの要素では、主に精神的、身体的、社会的の3つが存在すると考える。

精神的要素では、精神的な心地良さを確立を目的とする。主に、ストレスや不安を癒し、自己肯定感やポジティブなマインドを高める為に、フラワーセラピーやアニマルセラピーというヒーリング手法を提供する。

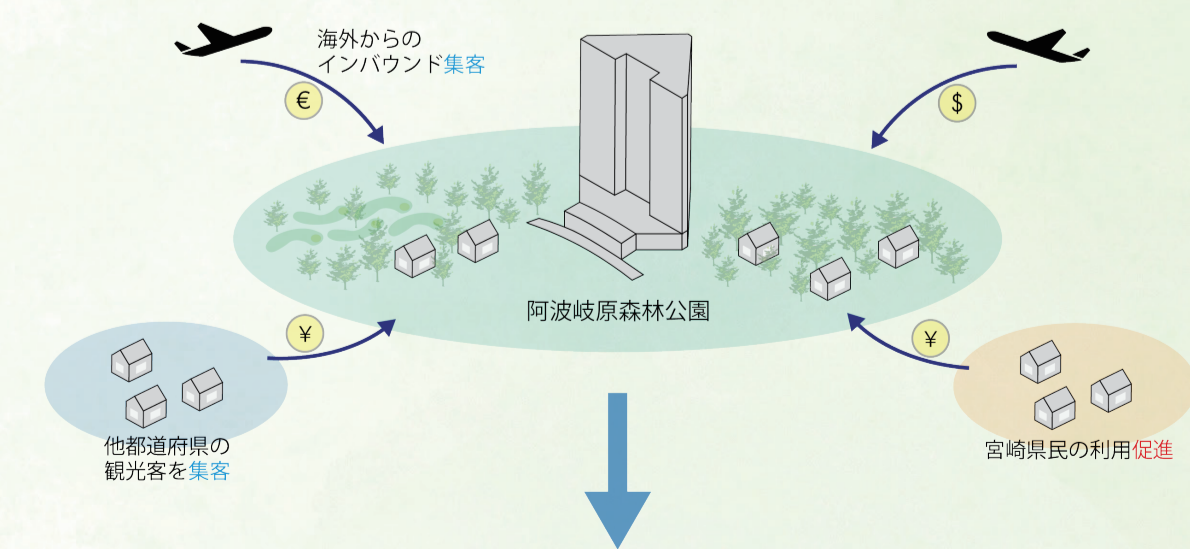
身体的要素では、過度な運動による疲れや日常生活の疲れの癒しを目的とする。この場所を宮崎の玄関口とし、インバウンドおよび他道府県から集まる人々に対して、ショートステイ型人間ドックを提供し、宮崎の地域医療に繋げる。また、日々の栄養バランスや睡眠の質の改善に対して、宮崎の食文化や自然を生かしたケアを用いて、自分の身体と向き合う場を提供する。

社会的要素では、人々の支え合いやコミュニケーション、関係性の質の向上を目的とする。主に、インバウンド等の観光者およびショートステイをしている人に対するアクティビティの提供および宮崎の高齢者に対するデイケア等を提供し、宮崎市民との分断化を抑制する。

これらの要素を用いる事で、精神的、身体的、社会的な潤いを向上させ、数年後の宮崎の地域医療および経済発展に寄与する21世紀のWell-Beingを行うことが可能である。

未来に繋げる医療を中心とした都市経営

2023年
海外や他道府県から、宮崎の玄関口である阿波岐原公園に人々が集まる。宮崎ではショートステイ型の健康増進型観光が主流となる。



2033年
海外や他道府県からの健康増進型観光を目的とした観光客が増加する。これより、阿波岐原公園を核に宮崎の市民病院やクリニックとの連携医療を図る仕組みが確立していき、宮崎の地域医療および経済が活性化される。

遙か昔、自然に恵まれた豊かな土地がうまれた。その地は宮崎と呼ばれた。常に人々は食糧や安心して住まうことが出来る場所を求め、移動を繰り返していたが、宮崎の地の豊かさに導かれ、人々は定住しはじめたのだった。

豊富な自然環境は安住を形成するだけでなく、創作の意欲をも刺激する。どこまでも続く水平線、輝く日の出、風に吹かれて強く浜へ打ちつける波、雄大に育つ松林らが人々を成熟させ、神話を創造させた。イザナギが黄泉の国から戻り、穢れを払い落とすために禊ぎをしたという御池もこの地につくられた。そのようにしてこの土地には神話が根付き、人々は神話を大切に、この土地で生活を営んだ。

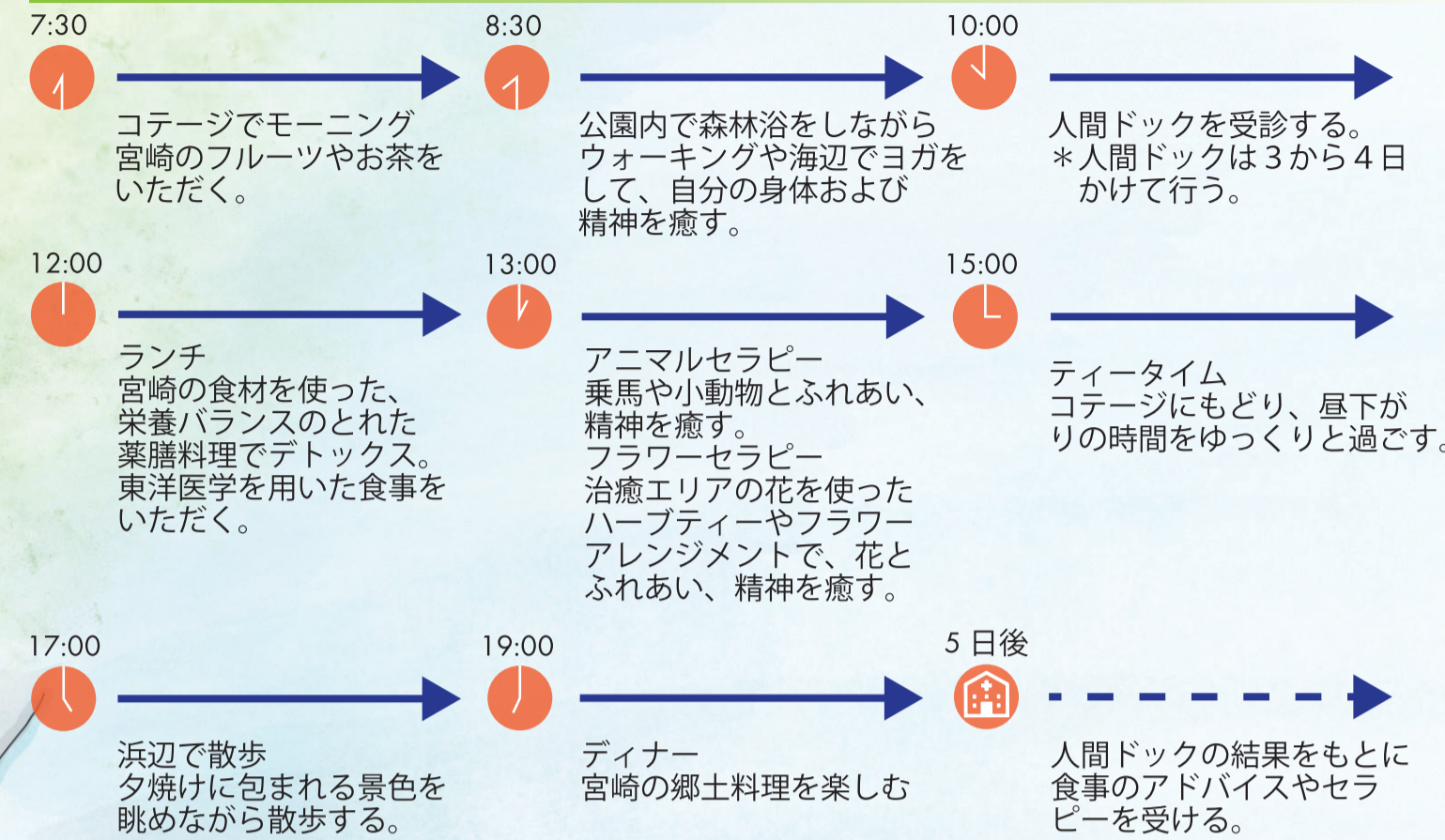
神話から、祈りの場として神社はうまれる。宮崎神宮を中心に無病息災を祈願する歴史がつづいている。

だが、ある時この地に新たな楽園（リゾートの意味）をつくるという計画がなされた。それは人間が人間のためだけに作る、瞬時の自己快楽的な考えであった。そのため、この地の自然の本質が薄れていった。人間の利己的な開発によって、この地の自然は徐々に穢れに満ちていった。

穢れが満ちた頃、突然、名も知れぬ疫病に日本全土が蝕まれた。それは宮崎の大地にも忍び寄った。未曾有の事態に人々は困惑した。そこで我々人間は何が必要なのかをいま一度考えた。豊かな自然に包まれて生活していた頃の人々の安らぎを再認識し、宮崎県の阿波岐原森林公園を穢れを払い落とす、心身の清めの地として構築する。



森林公園での過ごし方

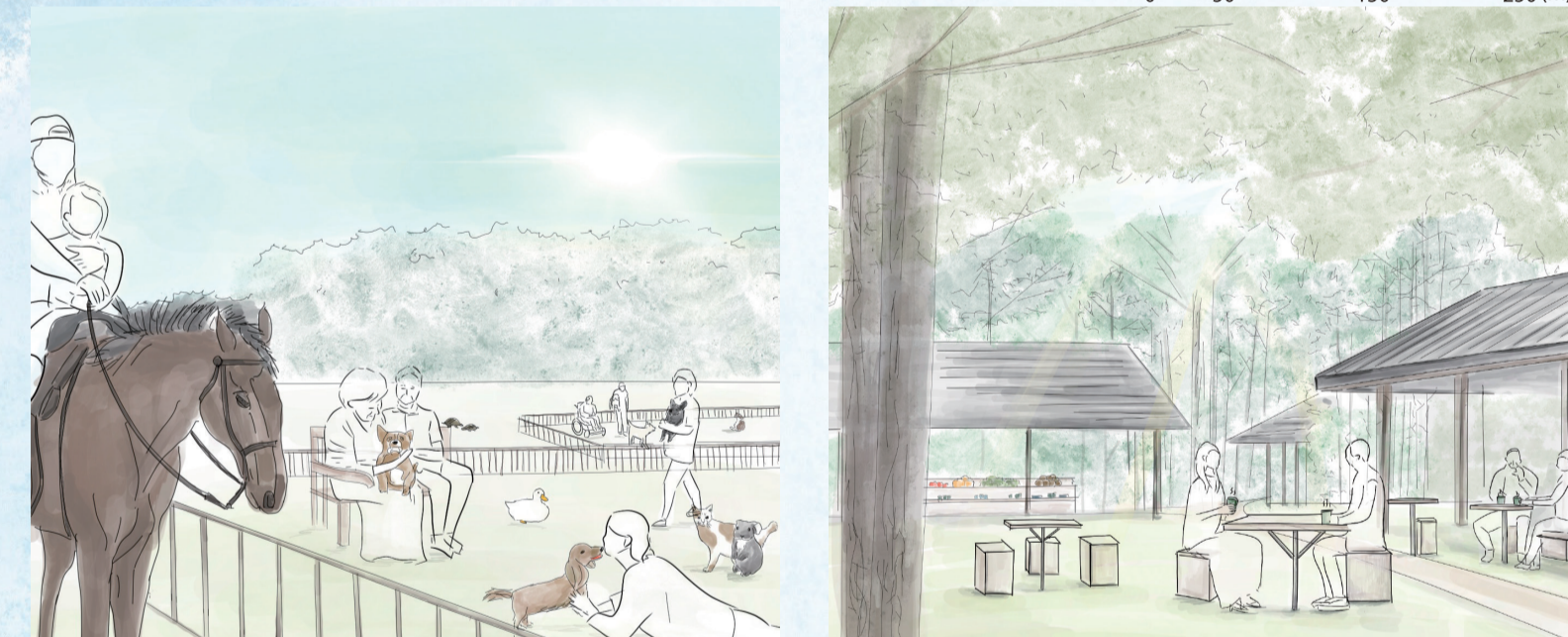
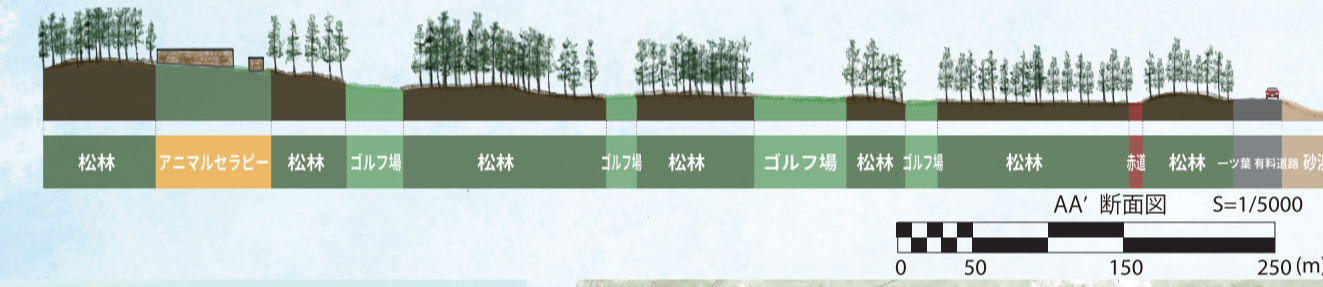


病気が見つかった場合
市民病院やクリニックにて、精密検査を行う。

治療・治療完了

治療エリア

治療エリアでは、人間ドックや定期検診などでがんや糖尿病、高血圧などの病気や病気のリスクを早めに発見し、早期治療に取り組む。また、リハビリで回復や再発防止を促す場所を提案する。



【アニマルセラピー】
動物（馬・犬・猫・兎など）と触れ合うことにより人の心に癒しを与える。ストレス解消、認知症、うつ病などの症状改善する。

【食事（お茶）】
周辺環境の農地にお茶畑を施しそこで育てたお茶を提供する。薬膳療法として、がん、高血圧、消毒作用など生活習慣病の予防になる。

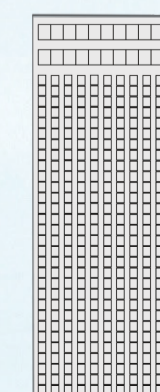


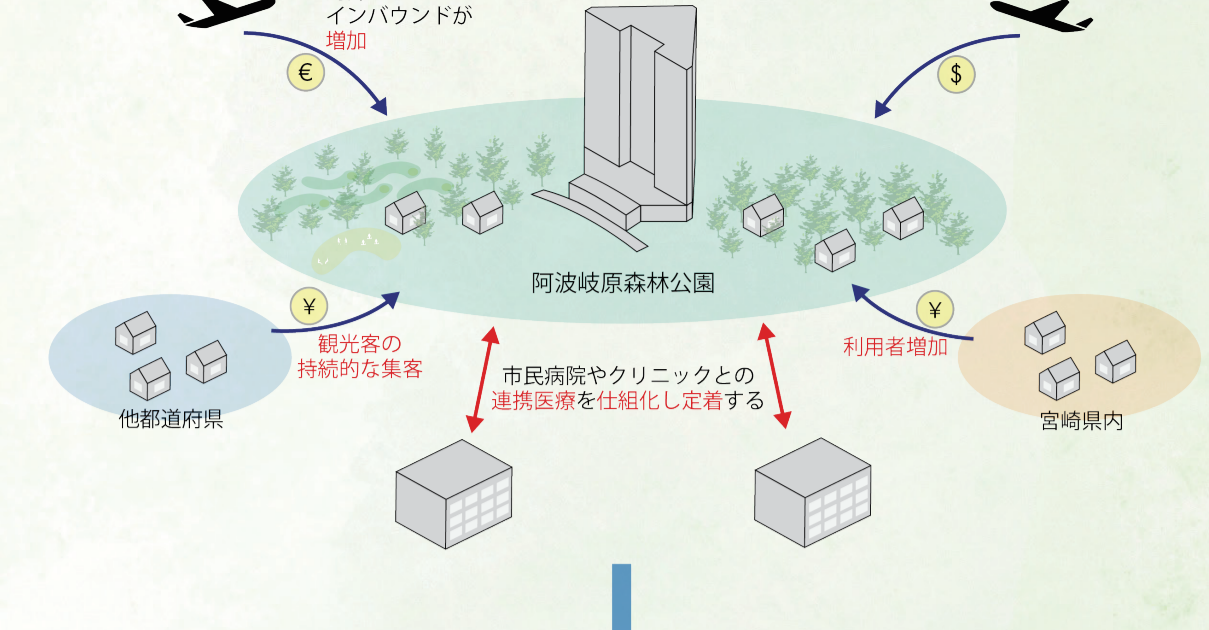
【ゴルフ】
広々としたゴルフ場を歩くことにより軽い有酸素運動および筋力運動効果に繋がる。また、心臓の健康維持の効果もある。

【サーフィン】
身体全身の動きに集中して筋力やバランス感覚を養いながら、体幹を鍛えたり、波と一体になることで心を癒す、サーフィンセラピーを提案する。

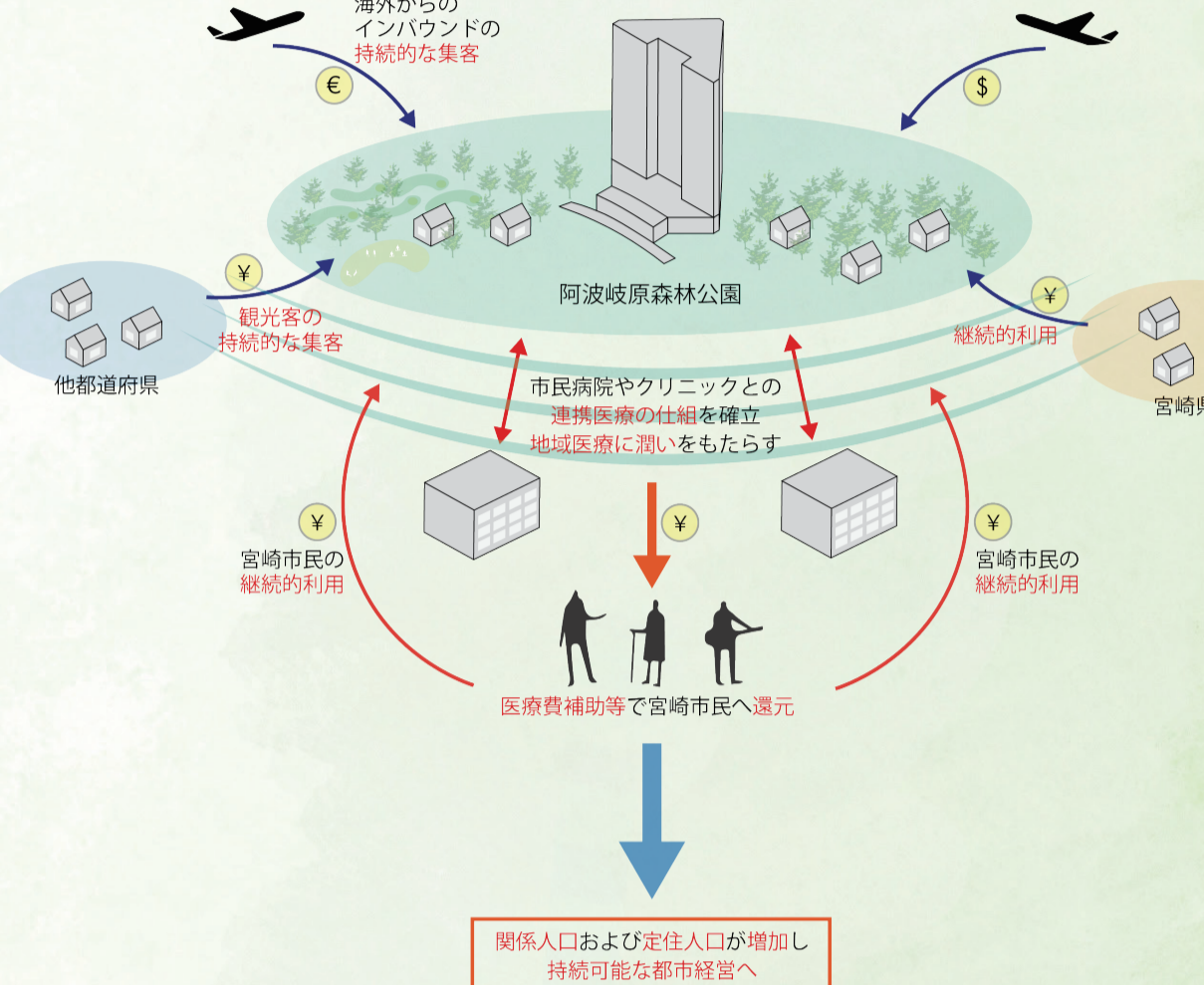
治療エリア

治療エリアでは、生活の質を高め、精神面および身体面からのアプローチで健康促進を行う場所を提案する。



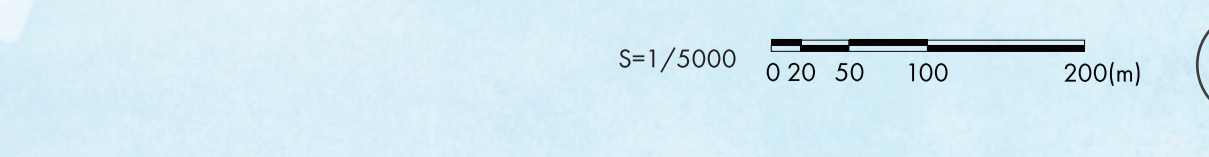


20XX年
 仕組みが活性および発展していくにつれ、宮崎市民に対して医療費等を還元できるようになる。
 やがて、**定住人口および関係人口の増加**にも繋がり、宮崎県全体のQOL向上とともに**持続可能な都市経営**が行われる。



都市と敷地内の位置関係およびゾーニング

核となる阿波岐原森林公園のゾーニングは中心から、**治療、治癒、予防**の順に波紋のように広がっている。



【森の中のサウナ】
 森林に囲まれた場所で精神を癒すとともに、サウナでデトックスを行う。体温を上げる事で予防に繋げる。

【入り江】
 入り江の泥を使い、ファンゴセラピーを行うことで、身体に癒しを与える。

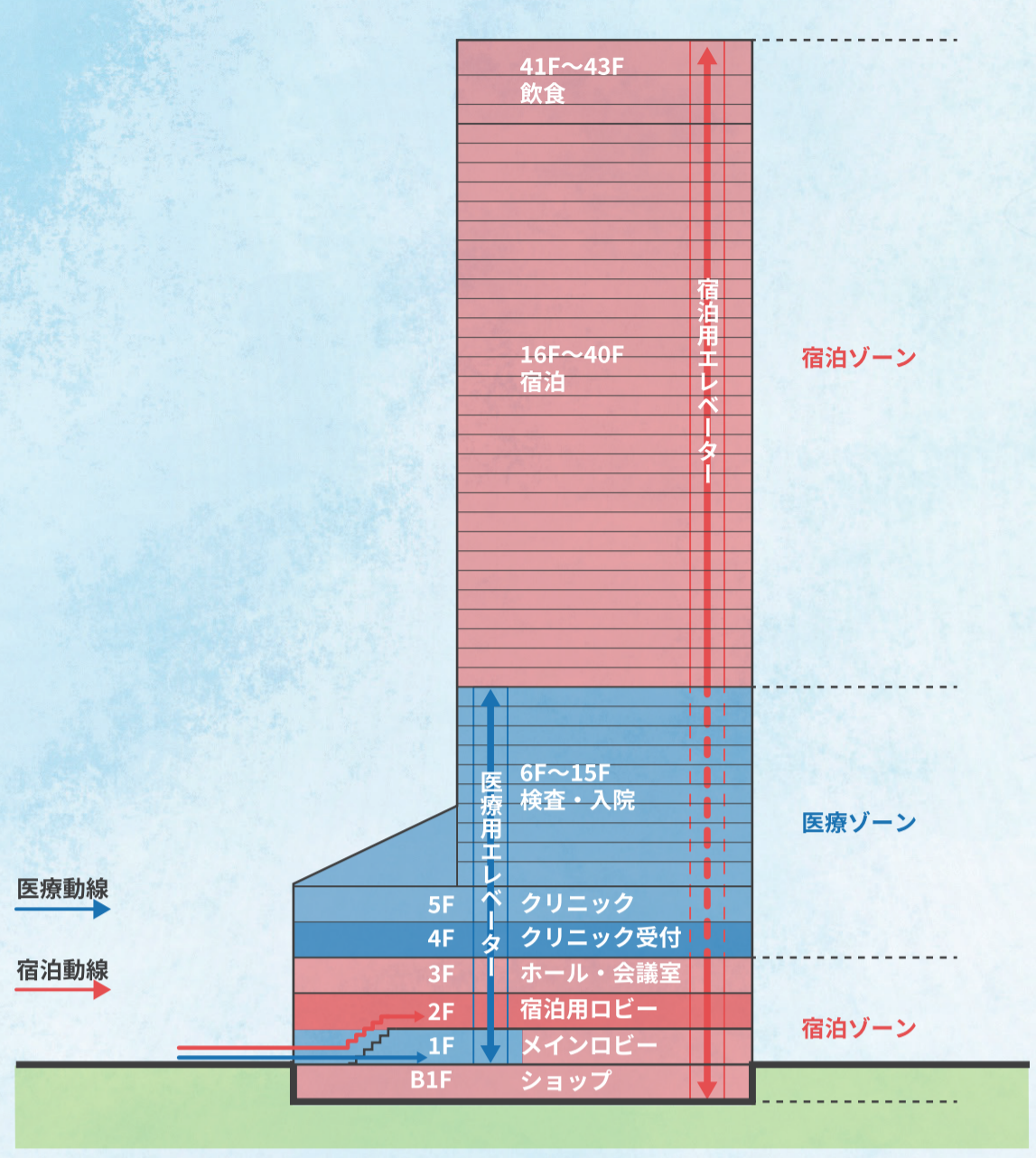
【ウォーキング】
 浜辺でのウォーキングで、適度な運動とマインドを整え、精神的側面からの予防を行う。

【水中運動】
 水治療法として、浜辺でのヨガや海中でのウォーキングを行う。身体のリフレッシュとリハビリテーションを可能とする。

【サップ】
 海でのサップやサップヨガを行い、精神面からのアプローチで病気を予防する。

【マリンスポーツ】
 主に、海辺で乗馬を行う。宮崎の海での癒しを受けながら、アニマルセラピーを同時に受ける事ができる。身体と精神のリフレッシュをしてマインドを整える。

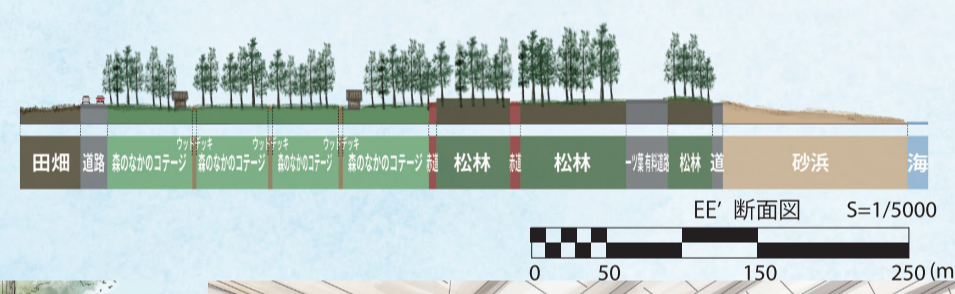
【既設建築を改修したメディカルセンターにおけるフロア配置計画】



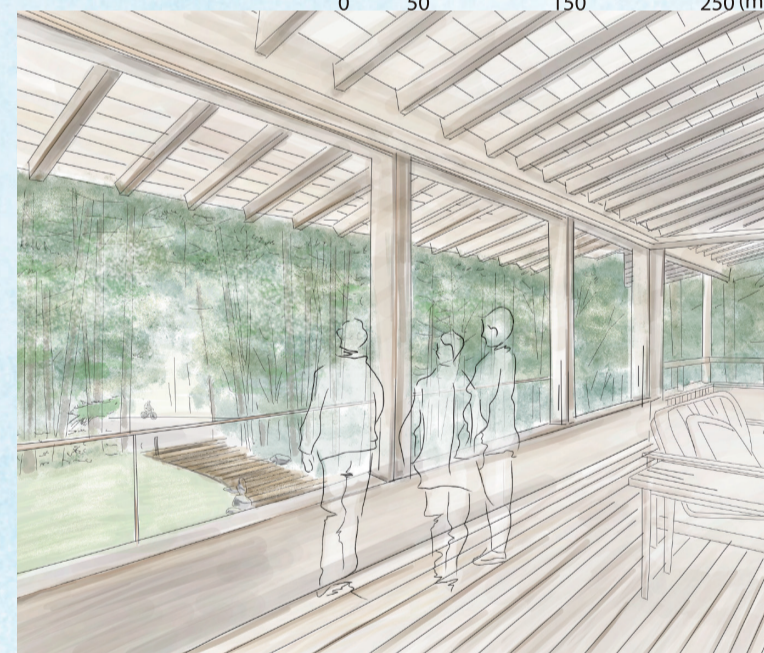
既存宿泊施設を最大限残したまま、4階から15階にクリニックを中心とした**医療ゾーン**を配置する。4・5階を**医療活動の中心**とし、6階から15階までを**人間ドックや検査、短期的な入院**ができるようにする。

クリニックでの医療を受ける前後の**宿泊**や、**周辺施設を使う観光客の宿泊**は16階以上と設定するが、**事業の進捗によりフロア構成はフレキシビリティのある計画**とすることができる。

また**既存のエレベーターの運用を調整**することで、**医療動線と宿泊動線の混在を分ける**ことが計画できる。



【森のコテージとデッキ】
 松の木を縫うように繋がるコテージと、デッキに人が誘われる。道を辿りながら森林内歩行に特化した地形療法に取り組むことができる。



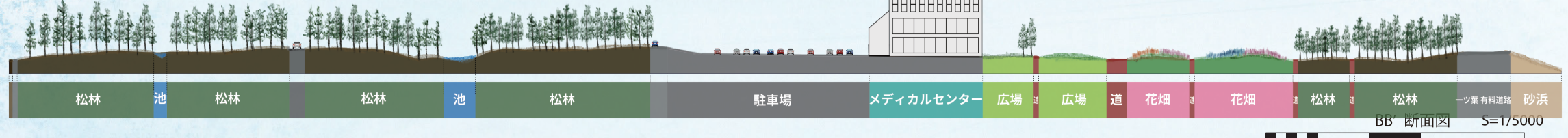
【森のコテージからの眺め】
 高さのあるコテージのなかで緑に囲まれながら過ごすことで、気持ちの安定や心と身体の緊張をゆるめて、疲労回復の効果となる。



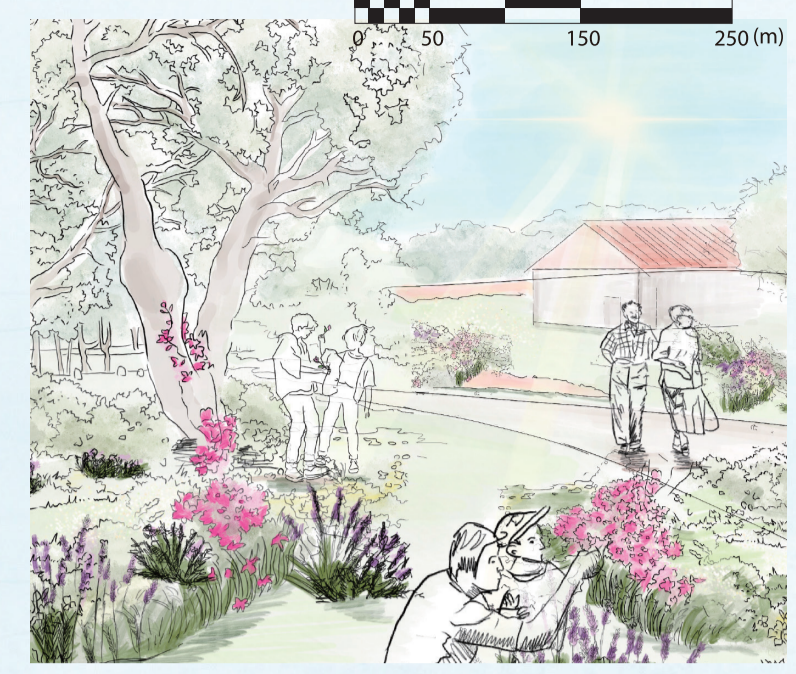
【コテージと山水庭園】
 コテージから張り出したデッキから、風景を眺めながら食事をする。自然環境を身近に感じることが精神に好影響をもたらす。



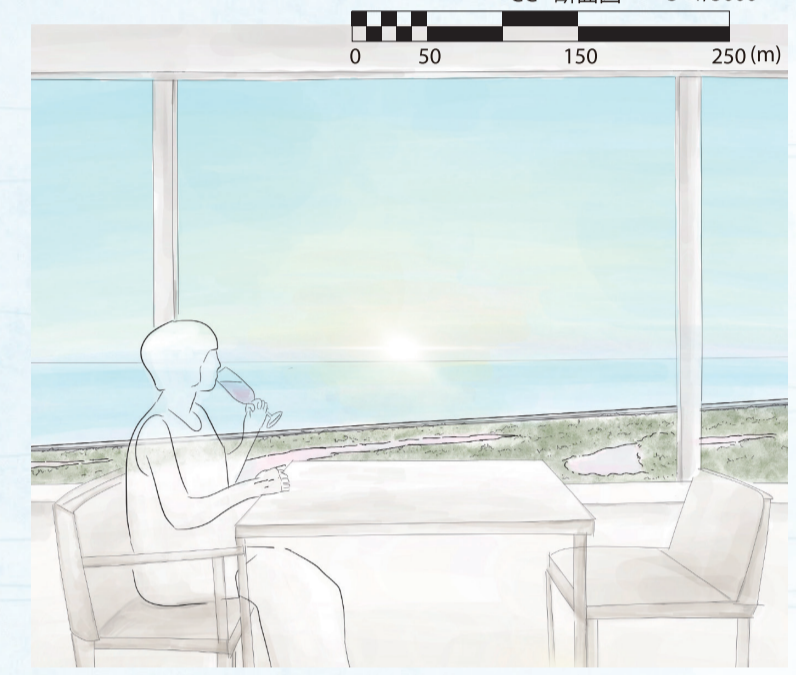
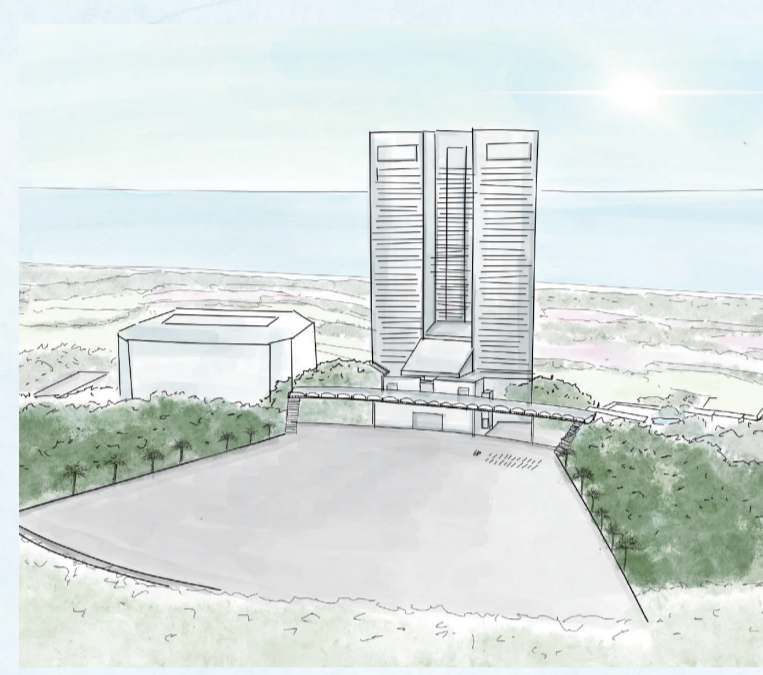
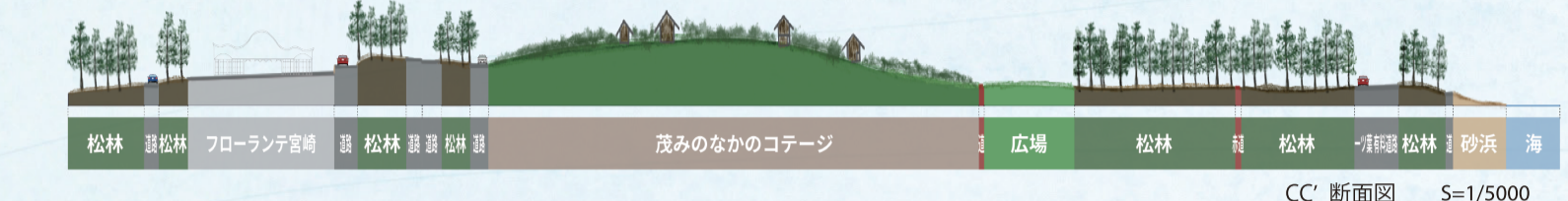
【雨庭広場】
 森林に囲まれた広場にはコテージが連なり、中央の雨水によって水が溜まる雨庭の機能を持ちあわせた水辺で癒しを与える。



【フラワーセラビーを目的としたコテージ】
 一面に広がる花畑と一直線の水平線が成す景色を眺望する。普段の視点とは異なる風景となり、日常生活を忘れて心身をリフレッシュさせる。



【フラワーセラビー】
 薬用、アロマ、ティーを提供するカフェを設置する。ブルーベリー、ハーブ(ラベンダーセージ、ローズマリーなど)を活用し五感を刺激し、体や心のバランスを整える。



【メディカルセンター】
 主に医療・観光拠点として機能する。内部では観光客受け入れをするとともに、滞在型の人間ドックのための医療窓口を設ける。

【レストランからの眺め】
 最上階のレストランからは、日の出を眺めたり、松林や花畑が海岸へ繋がる景色を望みながら食事をとることができる。



【コテージと山水庭園】
 コテージから張り出したデッキから、風景を眺めながら食事をする。自然環境を身近に感じることが精神に好影響をもたらす。

【雨庭広場】
 森林に囲まれた広場にはコテージが連なり、中央の雨水によって水が溜まる雨庭の機能を持ちあわせた水辺で癒しを与える。



【サップ】
 海でのサップやサップヨガを行い、精神面からのアプローチで病気を予防する。

【マリンスポーツ】
 主に、海辺で乗馬を行う。宮崎の海での癒しを受けながら、アニマルセラピーを同時に受ける事ができる。身体と精神のリフレッシュをしてマインドを整える。